

ご存じ
ですか？

6月支給(4・5月分)から

年金0.4%減額

今すぐ凍結を

昨年に引き続き年金が減額され、6月支給の4・5月分から0.4%削減されようとしています。「物価上昇しても、賃金が下落したらその変動率の分が減額」という不当なルールが適用されるためです。安倍政権下の2013年から6.7%もの削減になります。コロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻、円安など様々な要因で、物価は益々上昇していきます。こんな時期に年金減額などは高齢者の生きる権利を奪うものです。

こんな一時しのぎの政策ではなく、今すぐ0.4%の減額を凍結・中止を行い、まともに生活できる年金を支給すること求めています。

高齢者が働かなければならない実態が

—三幸製菓火災事故—

2月11日深夜、新潟県村上市「三幸製菓」荒川工場で大規模な火災が発生し、6人が死亡しました。そのうちの4人が68歳から73歳までの高齢者という痛ましい事故でした。年金だけでは生活ができないという年金受給者の実態が背景にあります。



私たちの声を聞いて

夫婦合わせても月15万円の年金額
下着以外は古着で間に合わせ

中学卒業後働きづめの人生です。保険料は滞納せずに払ってきました。定年退職後90歳の母の介護で数年間妻と別居生活をしました。収入は年金だけで、夫婦合わせても15万円。私は、皮膚・歯・眼・内科と、まるで「病気の百貨店」です。衣類は何年も新調していません。下着以外は古着で間に合わせています。



岐阜県76歳男性

長男の援助で何とか生活
国の都合で私の年金を下げないで

夫と死別し2人の子どもをパートをしながら育てました。国民年金の任意加入をしましたが、年金額は月7万円あまりです。介護保険料・国保料が天引きされ、家賃・光熱費・医療費・ガソリン代・灯油代・食費を入れて月20万円は必要です。長男の援助でなんとか暮らしています。国の都合で私の年金を下げないで。



富山県70代女性

夫死亡で年金額は月14万円減
パートで働いてもカツカツの生活

2021年7月夫が73歳で亡くなり、年金が月14万円も減ってしまいました。生活は夫の年金が頼りでした。夫が受給していた年金から遺族年金に移行したためです。夫は骨身を惜しまず働き、私はそれを支えてきたのです。年金減をパート収入で補っていますが、カツカツの生活です。



横浜市60代女性

夫婦合わせても月15万円の年金額
孫の入学祝も出せない 情けない

私の年金は月8万円強、夫婦合わせても月15万円ほどです。ほかに妻の収入が6万円ほどあるので何とか生活しています。住居費に5万5千円、光熱費が1万5千円、食費は4万円ほど。そのうえ医療費が夫婦で年間40万円ほどです。生活は大変苦しく、孫の入学祝も出せないという情けない生活です。



全日本年金者組合

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20 天翔大塚駅前ビル
TEL 03-5978-2751 FAX 03-5978-2777
Email:honbu@nenkinsha-u.org

あなたも
年金者組合へ